

# 第3回総合戦略推進委員会

## 議事要旨

日時：令和元年8月22日（木）  
午後6時30分～8時10分  
会場：庁議室

### 次 第

- 1 開会
- 2 委員長あいさつ
- 3 議題
  - (1) 平成30年度総合戦略における具体的な施策の進捗状況報告及び評価について（基本目標4）
  - (2) 令和元年度（平成30年度事業）昭島市総合戦略評価報告書（案）について（基本目標1から3）
- 4 その他
- 5 閉会

### 出席者（敬称略）

委員長・・・松本祐一（多摩大学総合研究所）  
副委員長・・・大塚一彦（立川公共職業安定所）  
委員・・・水野宏一（昭島市商工会）、勝見真之（連合多摩中央地区協議会）、樽松洋（公募市民）、山内昭裕（公募市民）  
事務局・・・萩原政策担当部長、永澤企画部長、青柳企画政策課長、滝瀬総合基本計画担当課長、森田企画調整担当係長、田中主事  
傍聴人・・・1名

### 1. 開会

事務局・・・ 本日は、大変お忙しいところ、第3回の総合戦略の推進委員会にお越しいただきありがとうございます。本日出席の委員さんお揃いですので、委員長よろしくお願ひいたします。

### 2. 委員長あいさつ

只今より、第3回の総合戦略推進委員会を開催いたします。この委員会も、今年度、最終回になります。ここまで、活発な議論をありがとうございます。この後、報告書を作って確認していく作業が、結構タイトなスケジュールになるんですが、今日の議論を踏まえて、また、会議外で皆さんにご確認いただくことになると思いますが、よろしくお願ひいたします。

本日は、齋藤委員、北原委員が欠席とご連絡をいただいておりますので、ご報告させていただきます。

### 3. 議題

- (1) 平成30年度総合戦略における具体的な施策の進捗状況報告及び評価について（基本目標4）

委員長・・・ 基本目標4について事務局より説明願ひます。

事務局・・・ 「地域間連携による環境保全」のうち、71番「奥多摩・昭島市民の森事業」でございます。こちらにつきましては、平成30年度につきましては、参加者の増を狙い、春の花の時期に設定しましたが、小学校の登校日等の日程が公表される前であったため、登校日と重複してしまいました。また、こちらの事業は、当初、中型バスを使用しておりましたが、現在、奥多摩・昭島市民の森まで上がる道が非常に狭いため、20人乗りのマイクロバス2台分の40名を定員として募集しています。年間2回実施のため最大で80名となることから、今後の目標値について委員の皆様のご意見をいただきたいと思っております。次に、74番「宿泊助成」につきましては、奥多摩や岩泉町をはじめ東日本大震災の被災地などへの宿泊費の一部を助成いたしました。今回、KPIの目標には達しませんでした。こちらにつきましては、大口の利用団体が隔年でこの助成制度を利用しているため、30年度は実施しない年となり、目標に達することができませんでした。次に75番「雨水浸透施設設置費用の助成」でございます。こちらは、申請数が低迷している状況であったため、平成30年度に要綱の改定をし、新築住宅でも助成可能としたことで若干の基数の増となりました。しかしながら、依然として目標値に達していませんので、今後も積極的な周知を図り、目標達成に努めてまいります。

次に、施策の「安全安心な暮らしの確保」のうち、79番「備蓄対策の推進」でございます。平成30年度で目標とした3万人分の備蓄食糧を確保することができました。続きまして81番「要配慮者避難支援プランの作成」につきましては、平成31年2月に、昭島市避難行動要支援者の避難支援プラン（全体計画）を策定し、円滑な避難支援体制の確立に努めました。また、災害時要援護者名簿を作成し、平常時においても関係機関への名簿提供に同意された3,043人については、昭島市社会福祉協議会及び昭島市民生委員・児童委員へ平成31年3月に名簿の提供を行いました。次に82番「街頭防犯カメラ設置事業」でございます。こちらは、市内各駅周辺設置率100%となり、目標値を達成しました。犯罪抑止に向け、適正な維持・管理を行い、安全・安心まちづくりの推進に努めてまいります。

「地域包括ケアシステムの視点に立った高齢者支援」のうち、87番「高齢者各種教室」、88番「高齢者福祉センター事業」、89番「認知症サポーター養成講座」の3事業のKPIにつきましては、分野別計画の令和2年度の目標値を記載しております。続きまして、88番「高齢者福祉センター事業」です。こちらは、高齢者福祉センターの利用人数は、松原町高齢者福祉センターにおいては増加しているものの、拝島町、朝日町高齢者福祉センターにつきましては、減少しています。特に朝日町高齢者福祉センターは、平成30年1月27日の火災により、平成31年2月まで休館していたため利用者が大幅に減少しています。92番「いきいき健康ポイント制度」でございます。年々応募枚数が増加していることから、制度が周知され、自治会やボランティアなどの地域活動や生涯教育などに積極的に参加し、健康やスポーツによる健康の維持・増進に努める方が増加しています。制度開始から4年目となり認知度が高まったこと、過去の参加者が継続して参加してくださり、また、参加者からの紹介などにより応募総数増加につながっていると思われれます。KPIについては、400%を超える達成率となっていることから、上方修正について委員の皆様のご意見をいただければ幸いです。

続きまして「時代に見合った生活圏の形成」のうち、94番「空家対策」でございます。平成29年度に実態調査を実施し、158件の空き家を確認。平成30年度は、今後の空き家対策の検討資料とするため、その調査結果等に基づき空き家の

所有者等に対して利用実態等のアンケートを実施したところです。また、昭島市空家等対策検討委員会を組織し、検討体制を整えてございます。最後に、95番「コンビニ交付事業」でございます。ポスターやチラシなどで事業の利便性を伝え、啓発に努めました。実績は年々増加し、30年度は達成率が300%を超えていることから、上方修正について委員の皆様のご意見をいただければ幸いです。説明は以上です。

委員長・・・ 基本目標4は、総合戦略の冊子62ページの図のとおり、基本目標1から3は、人口を増やしたり、昭島に人口を引っ張ってくる事業が中心ですが、基本目標4は基盤を作る、生活の基盤を作ったり、環境との共生だったり、高齢者支援も入っていますが、基盤を作る事業が多いので、色々な物が入っていますが、こちらについて、皆様のご意見、事務局からもいくつかご意見をいただきたいともありましたので、その辺を中心にご意見をいただければと思います。

事務局・・・ 本日欠席の齋藤委員から、ご意見をいただいています。71番「奥多摩・昭島市民の森事業」と83番「防犯パトロール団体の登録」の事業につきましては、目標を立てた時と状況が変わってきているので、目標値の変更を検討したほうが良いと思います。

87番「高齢者各種教室」、88番「高齢者福祉センター事業」につきましては、KPIを下回っていることから、状況の把握を行い対策が必要と感じました。

92番「いきいき健康ポイント制度」、95番「コンビニ交付事業」につきましては、KPIを実績が上回っている状況から目標値を上げる方が良いと思いますのご意見をいただいています。

樽松委員・・・ 71番に関しましては、ずっと目標を達成していないのですが、道の事もありますので、来年度このようにいけばいいかなと感じました。74番に関しては、隔年ごとに減って来年度増えるのかなと思うんですが、75番と76番は実際に目標値を達成出来ないのではないかと考えています。広報などで補助金が出てくるんですが、家の場所もあって、補助金があってもつけるメリットがあまり無いのではないかと思います。ですから、これをつけたら下水道料金を下げるとか、工夫をしないと、達成できないと思います。新しい家につけるならまだしも、既存の家につけるのは難しいと思います。

事務局・・・ 委員おっしゃるとおり、様々な理由があって設置の数が伸びてきていないのが、数字としても見てわかる状況にあります。そうしたところを踏まえまして、平成30年に要綱の改訂をいたしまして、新築住宅も助成を可能としたことで、30年度については、若干伸びがあったというところでございます。こうした変更をしたことで、今年度については、状況を確認したところでは、比較的伸びがあるとの話を聞いておりますので、引き続き周知を含めて、目標に向けて努力をしていきたいと伺っております。

委員長・・・ 事業としては、いつまで実施との期限はありますか。

事務局・・・ 特に期限を切つてと言うものではありません。

山内委員・・・ 雨水貯留槽は、各家庭に設置して、そこから散水する水を得ると言うことですよ、散水以外に活用法があるのでしょうか。

事務局・・・ 雨水を貯めておいて、使うものですから散水ですとか花壇への水やりが中心となります。

山内委員・・・ 実績としては、平成30年度末で399基ですから、年度ごとの目標には達していないが、少しずつは伸びている。花壇への水やりや散水をされるのかなともおもいますが。

政策担当部長・・・ 雨水の活用なんです、水道水の節水と言う部分の啓発にもつながっていきますので、啓発効果も得られるのかなと思っています。

山内委員・・・ 71番ですが、非常に良い事業だと思います。ただ、目標と実績に開きがあるということで、実際の中身としては、下草刈りが主なのでしょうか。

事務局・・・ 基本的には下草刈りですとか、剪定作業と一緒にやっていただく事業になります。

山内委員・・・ 小学生が興味を持つような、下草刈りだけではつらいと思うので、併せて、例えば午前中に下草刈りをして、午後は昭島の森に住んでいる昆虫の勉強だとか、植物の勉強の教室と併せてやってはどうかなと、そうすれば、小学生も興味を持てるのではないかなと思います。

事務局・・・ 下草刈りや剪定の作業もしていますが、それ以外にも環境学習的な側面を持った物もありますし、地元の方々との交流もありますので、作業だけやっている訳ではないので、委員がおっしゃったような子どもが興味を持ってもらえる要素も含めて実施をしている状況ではございます。

山内委員・・・ これだけ乖離しているのは、何が原因なのか、思い当たる節はあるのでしょうか。

政策担当部長・・・ 実施時期を変更して、内部調整も上手くいってなかったのかなと、先程、理由で説明させていただいたとおりでございます。この委員会の前に、庁内の検討委員会でも意見をお伺いしていますので、今後、時期を設定する際には、庁内の横の連携をしっかりとしながら、参加しやすい時期にするよう事務局から主管課には伝えてあります。

過去には、台風などで中止になったりした要因もございましたが、30年度に限っては、実施時期の選定が甘かった部分も反省点として捉えております。

山内委員・・・ 目標値は、年2回の実施で80名と言うことなんですが、80名は仕方がないとして、良い事業だと思いますので、目標に届かないからと言って、安易に目標値を下げないようにした方が良いと思います。

委員長・・・ 80名は、バスの定員と言うことで、事業としての縮小ではないと思います。

奥多摩・昭島市民の森は、住んでいる人にどれだけの認知度があるのですか。

樽松委員・・・ 知ってはいますが、個人で行くには非常に遠い。車で行くしかない山の上ですから、特別にバスで行くなどしないと行けない。知ってはいても、どこにあるかはわからないのでは。

政策担当部長・・・ 主管課としては、パンフレットを作ってPRには努めているのですが、全市民に伝わるまでには、まだ達していない。昭島市は、近くに山はあるのですが、実際には山は無いということで、奥多摩町の一部の山を借りまして、50年お借りする前提で、木を苗から植樹して育てていく取組で、大木になった段階で、その木を活用していく内容の事業となっています。環境の部分を含めて、しっかりと子どもたちに、参加者を増やして、語り継いで盛り上げていきたいなど主管課も我々も思っております。目標値については、バスの定員がありますので、致し方ないのかなと考えております。

委員長・・・ 環境保全と言うところで、いつまでやるのか質問したのは、時間がかかると思うんですね。環境保全の意識を市民の方が持って、具体的な行動になるまで非常に時間がかかるようなところなので、先程、お話しがあったように、達成しないからやめてしまうとなると、主旨から外れてしまうのではないのかなと思うところで、雨水も環境意識が変わって、はじめてやってみようと思うわけで、どちらかと言うと、市民の環境意識を高めていくような何か、子どもに対する環境教育もそうですし、地道なPR活動をし続けないと、こういった事業は生きてこないの、そこの組み合わせではないかと思えます。

委員長・・・ KPIの変更が検討されているところが他にもあったと思いますが、いかがでしょうか。

勝見委員・・・ 91番の「いきいき健康ポイント制度」と「コンビニ交付事業」ですが、約半年経った段階で、中間の数字は出ていますか。

事務局・・・ 今年度の数字は持っていません。

勝見委員・・・ 「いきいき健康ポイント制度」は、65歳以上が約3万人近くいる中で、どれくらいの目標を設定するか、分母が3万なので目標値を10人に1人で3千で良いのかなとの話にもなりますし、もうちょっとやって欲しいとのことで5人に1人で6千枚、3万人いるというところで、考え方も考えたほうが良いのかなと思えます。

委員長・・・ 92と95については、かなり上回っていますので、どちらにせよ上振れさせた方が良いと思うんですが。

山内委員・・・ 95番のコンビニ交付は、これからどんどん増えていくのではと思うので、3,500が良いのかわかりませんが、これも増やすべきではないかと思えます。

委員長・・・ 29、30年度と健康ポイントも2,000を超えていますし、コンビニ交付についても

2,000、3,000とかなり増えていると、場合によっては、今年度でも3,500にいつてしまうかもしれません。

政策担当部長・・・ ご指摘の2つの事業につきましては、内部の取組の部分で進んでいますので、出来ましたら令和2年度だけではなく今年度の目標値から、実績値を上回る形で対応したいと考えています。

勝見委員・・・ 74番の「宿泊費助成事業」ですが、昨年で数字が600近く、超えています。昨年大口利用があったから、今年少ないではなく、もう少し中身を考えたほうが良いのかなと思います。指定業者が2つ、玉川町とつつじが丘、助成金も3,000円というところで、業者を増やすなり、アピールも積極的にしていくと中間年も伸びていくのかなと感じます。

企画部長・・・ 宿泊助成事業につきましては、以前は旅行業者が市内に3社ありましたが、1社は事情がありまして、宿泊助成事業の取り扱いを辞めてしまいました。宿泊助成事業につきましては、市内事業者の方にも、産業の観点から使っていただき、そこを通じてやっているの、旅行業をやっている方が少ないので、2社となっています。大口も、お金が貯まったら利用していただいているので、どうしても波が出てしまうということに、ここ何年かかっています。

委員長・・・ この事業も、特に期限はないですね。

企画部長・・・ ないです。

企画部長・・・ ここにも書いてありますが、昭島市と関係のあるところを結び付けて補助を出していますので、先程お話しがあった奥多摩も市民の森の関係で繋がりがあると、岩泉町については友好都市になっていると、震災の関係で福島県、熊本県を宿泊助成事業の使える場所としているので、どこにでもと言うわけではないので、そういう意味で制限されてしまうことはあります。

委員長・・・ 訪れて、出会ったりとか関係が深まる場所でないといけません。宿泊費の助成ですから、きちんと見極める必要はあるのかなと思います。

水野委員・・・ 82番「街頭防犯カメラ設置事業」で、30年で達成されているのですが、設置当初は、プライバシーが守られないとか、色々なご意見があった記憶があります。その後、設置して市民の皆さんからのご意見があるのか、そして、今後なんです、テレビ等で事件があるたびに防犯カメラの映像があって提供されるということで、ここで掲げる安全安心な暮らしの確保には、切っても切れない事業と、ますます拡大していく必要があると思いますが、市のお考えをお聞かせください。

政策担当部長・・・ プライバシーの関係につきましては、この間におきましては、特に市長への手紙等でプライバシーを侵害されているのご意見は無かったと思います。今後の事業につきましては、駅前を中心に100%となっていますが、警察等から犯罪の関係で映像の情報提供につきましても、市の職員が直接行っておりますので、しっかりと情報管理しているところでございます。また、これとは別に学校の通学

路の部分では、東京都の補助金を活用しながら、学校ごとに設置も終わっていません。機械器具ですので、一定の期間で更新等は必要になってくるかなと思います。犯罪の抑止力の効果もごさいますので続けていきたいと思ひます。あわせて、話は逸れるかもしれませんが、交通事故、あおり運転もありますので、庁用車を更新していく際に、ドライブレコーダーを付けていく形にしています。

商店街につままして、東京都の補助金を活用できるとお話を伺っているのですが、なかなか計画を作ったり、維持管理、個人情報管理ですとか、手続きもかなり複雑と伺っておりますので、東京都の補助金を活用して商店街等で設置していく方向は、補助金の制度から難しいのかなと思ひています。

水野委員・・・ 最後のところ、質問させていただこうと思ひていたのですが、商工会を代表して越させていただいておりますので、今後、検討することがありましたらよろしくお願ひいたします。

山内委員・・・ 関連してですが、79番の備蓄対策の3万人分確保したというのは、どういうことになるのか。

政策担当部長・・・ 備蓄食料等につまましては、一定の保存期間が限られていますので、地域防災計画の見直しにも応じて、数値が変わってくる可能性もあるのですが、一定期間過ぎたものについては、経常経費で予算計上して更新をしていくと、確保していくこととなります。

山内委員・・・ 3万人を増やす考えはない。

政策担当部長・・・ 3万人分は、帰宅困難者ですとか災害を受けた時にどういった避難生活をするか想定のもと、地域防災計画の部分でどのくらいの食料数が必要かを想定し、3万人が現計画の中では位置づけられているところでございます。現時点では、計画の見直しまでは3万人の確保を前提としながら、一定の期間を過ぎたものは更新しながら、今後、災害想定が変わってきたときに、食料数の見直しが図られれば、状況に応じて変更していくこととなります。

山内委員・・・ 防犯パトロール団体の登録は、目標値に実績も近いところで問題は無いと思ひますが、ただ、高齢化に伴い人員確保に困難性がありとあります。パトロール団体と言うのは、ずっと同じ人がやっているのですか。

企画部長・・・ 防犯パトロールは、青色パトロール車を活用していただきながら、市内の地域を回っていただくのが基本で、登録団体は自治会とか地域の団体の方が協力して回っていただいている状況です。やはり、団体において新しい方の登録が無いので、最初からはじめられた方が、ローテーションを組みながらやっているところ。平日が多いので、なかなか一般の方が使ってやるのは難しいところ。です。

委員長・・・ パトロール車を借りて行うのか。

企画部長・・・ 2台あるうちの1台を貸し出し用として、順番を見ながら使ってもらっています。

委員長・・・ ほぼ、団体は自治会ですか。

企画部長・・・ そうですね、あとはコミュニティ協議会です。

委員長・・・ そうなると、高齢化になって活動自体が厳しくなっていくのは、他の活動とも同じだと思います。今後、団体数が減っていく可能性もありますか。

企画部長・・・ 感覚とすると、組織の中身の方が若返りして、新規が増えていかないと、取組は進んでいかないと考えられます。

委員長・・・ もとものの主旨は、車を使って回ること自体が目的ではないわけで、防犯パトロールが出来て、見守り活動が出来れば良いわけですから、時代によってそのやり方が変わっていったりすることはあるのではないのかなと思います。K P Iにどこまでこだわるかというところもありますし、目標値に近いところで推移していますし、今何かやることはないのかもしれませんが、ただ、潜在的に減っていく可能性があるところを意識したうえで、別のやり方とか考えたほうが良いのかなと思います。

企画部長・・・ 先程お話のあったドライブレコーダーも積んでいますし、振り込め詐欺も、この住所に多く電話が掛かっているという時には、パトロール車で放送をかけて回っていますので、抑止効果は十分あるのかなと思っています。

樽松委員・・・ 88番の高齢者福祉センター事業なんですが、朝日町高齢者福祉センターの火災による休館で減少しているとありますが、ずっと減っている。何か利用の仕方の問題があるんじゃないのかなと思うんですが。

委員長・・・ 具体的に利用と言うのは、健康の増進や教養の向上と言うことで、講座であったりとかの利用が多いのでしょうか。

政策担当部長・・・ 基本的には、市にある老人クラブ連合会の活動拠点としての位置づけが1つ、それと、老人クラブの中にも囲碁・将棋のグループや歌謡ですとか、様々なグループがありますので、グループの活動拠点の部分もございます。地域の高齢者の方の集まれる憩いの場としても活用していますので、囲碁や将棋が出来るようにもなっています。先程の火災が発生した部分につきましては、改修も済んでおりますので、開館している状況にあります。30年度の休館中の利用者減は、本年度は解消できるのかなと、ただ、老人クラブ連合会も、他の団体と一緒に高齢化して消滅しているグループもございます。活動自体も、過去に比べて縮小しているのかなと思います。

山内委員・・・ 高齢者各種教室で、文化・スポーツとあるので、これは市民大学じゃないかなと、高齢者じゃない人も市民大学に入るんでしょうけど、そっちの活動と一緒にかなと思うんですよ。

政策担当部長・・・ 市民大学の部分については、学習をしていく視点での講座をやられているもの



で、高齢者限定ではなくそれ以外の方もいらっしゃると思います。高齢者各種教室は、介護予防ですとか生きがいつくりのために、運動教室をやったり、毎年、教室の見直しをしています。写真を撮ったり、パソコンでイラストを描くなどの教室を開催しています。こちらにつきましては、65歳以上の高齢者を対象にしている事業ということで、切り分けはされています。

委員長・・・ これは、どこでやっているのですか。

政策担当部長・・・ 基本的には、あいぽっくの前にある、旧庁舎のあった部分の1階を改装しまして、高齢者が活動できる部屋を作って、その中で行っています。

樽松委員・・・ 市民大学は、公民館の主催で、フォーラムもやっていて、高齢者各種教室はシルバーセンターでやっているのが多くて、募集して10から20の項目があります。市民大学は、8期までやっていて9期を来年募集するのですが、50人募集して、最近が集まりが悪くて、定年延長とか、シルバー人材センターもそうなんです。集まってこない。高齢者が多くなっても、働く人も多くなっているから、ここら辺をどうしていくのか。

委員長・・・ 数年後の事業の中で、変えていくことではないかもしれませんが、高齢化が進み、だけれども働く時間が長くなって、さらに老人クラブに対するイメージだったり、これからの高齢者は違ってくるでしょうから、それに合わせて市の事業も所管が色々あるとは思いますが、変えていかないと時代にあったものにならないということで、その兆候が色々なところに色々な事業に出てきているのかわかるのではないのでしょうか。

山内委員・・・ 老人クラブに入るとか、地域の自治会に入るとか、昔と比べると入る人が少なくなっているのではないかと思います。ネットなんか見てるとつながりだとか、いっぱい出てきますが、その割にクラブに入って活動してみようという人は少なくなっていると思うんですよ。なぜかはわからないんですが、そうすると、老人クラブなどを根っこにして事業を組んでいても、その辺を見直す、別の形を模索することも必要なのかなと感じます。

委員長・・・ たぶん、この分野だけではなく、子育て世代もそうですし、子どもたちもそうかもしれない、この間、子ども会の話もありましたし、なかなか難しくなっているなかで、どうコミュニティを作って維持していくかということは、そう簡単な話ではないと思います。もっと言うと、既存のコミュニティに、かなりいろんな意味で頼って市の事業が行われてきたところもあると思うんですね、自治会もそうですが、それが成り立たなくなる中で、どう新しいコミュニティだったりだとか事業と一緒にやれるところをどう探して、育てていくか、市役所としては考えていかなければいけないし、市民も考えなければいけない。商工会もそうかもしれませんね。高齢化していくと、活動自体も昔と違ってやるのが変わってきますよね。

勝見委員・・・ 高齢者福祉センター事業なんです。朝日町の改修が終わって、10月から松原町が空調設備の関係で半年間休館すると出ていたんですが、来年度、伸びが鈍化

するのかなと感じています。

政策担当部長・・・市の老人クラブ連合会の拠点施設として、松原町高齢者福祉センターに事務局が設置されているところもごございます。活動をその期間すべてやめてしまうことにはならないと思いますので、そこで活動されていた方たちは他方に流れていくのかなと言う部分はあるのですが、主管課に確認できておりませんので、確認させていただいて、何らかの形でご報告させていただきます。

樽松委員・・・地域密着型サービスの充実の目標値がそれぞれ1箇所だけとありますが、必要数に対してどうなのか、目標値を決めるのに必要数に対する充足率みたいな目標値を定めることは出来るのか。

政策担当部長・・・ご質問の2つにつきましては、保健福祉部の介護福祉課でもっている高齢者福祉計画、介護保険事業計画の中で需要とかなを見極めて3年間で見直しをかけていくのですが、この期間内にどれくらいの施設が必要だとか見極めながら、その計画の中で施設整備を位置づけていくと、それがここでの目標値になっていますので、需要に対する充足率で置き換えるのであれば、こちらの2事業につきましては、100%になります。

樽松委員・・・サービス付き高齢者住宅は、市の方にも、施設に入れてくださいとの需要があって、それをもとに計画されるわけですね。

政策担当部長・・・サービス付き高齢者住宅は、東京都の認可等も必要で、市としては施設が必要なのか、充足しているのか不足しているのか、東京都に意見を申し述べて、不足しているということであれば、そこで整備がされていきます。

委員長・・・先程もありましたが、各事業に対するKPIの変更など、皆さんから意見が出たように、それぞれの事業の基盤となっている市民との関係性、コミュニティの関係性が、コミュニティそのものが変わろうとしていることを踏まえて、これからの事業を考えていかなければいけないとの文言は、報告書のどこかに入れていただくと、我々としてもただ事業だけを評価しているのではなく、裏側にある時代の変化についても、気を配りながら評価をしていることをお伝えできるのではないかと思いますので、よろしくお願いします。

## (2) 令和元年度（平成30年度事業）昭島市総合戦略評価報告書（案）について（基本目標1から3）

委員長・・・令和元年度（平成30年度事業）昭島市総合戦略評価報告書（案）について事務局より説明願います。

事務局・・・令和元年度（平成30年度事業）昭島市総合戦略評価報告書（案）につきまして、委員の皆さまには、8月14日時点の評価書（案）につきまして、事前に送付させていただきました。

本日は、机上に8月22日時点のものを配付させていただいております。こちらは、事前配付のものから修正等があった部分につきまして、見え消しをさせてい

ただいておりますので、ご確認をいただければ幸いです。また、報告書（案）につきましては、たたき台の意味合いもございまして、不備な点もございます。具体的には、ページが振っていないところや、ページが入れ違っている部分がございます。実際の報告書の段階では訂正をさせていただきます。

なお、本日議題となりました「基本目標4について」をはじめといたしまして、依然として「30年度報告書のまま」と記載している部分がございます。

具体的には、1ページ目の「はじめに」や3ページ目の「総評」、45ページ目の「評価を終えて」などですので、委員の皆様からご意見があればお聞きしたいと思っております。

また、38ページ以降のK P Iの変更等に関わる部分につきましては、委員の皆さまの意見として記載をさせていただいている部分がございますので、内容をご確認いただき、ご意見をいただければと思います。

その他にも、修正後のK P Iなど空欄部分がございますが、こちらは今後予定されております庁内の推進委員会にて設定される予定ですので、ご了承ください。以上です。よろしくお願いいたします。

委員長・・・ 8月14日版から、結構変わっていますので、わかりづらいかもしれませんが、内容について、今の段階では基本目標1から3までの内容ですし、総評の部分ですとかこれからの部分もありますが、見ていただいて気になる部分やご意見等ありましたら、今の段階でいただいております。

当然ながら、今日の議論の基本目標4の部分を加えたうえで、もう一度皆さんには確認いただくプロセスはありますので、今の段階でお気づきの点があればお願いいたします。

樽松委員・・・ 地縁を活かした子育て支援と子どもの健全育成のところは、8月14日版の表では載っていませんでしたが。

事務局・・・ 記載漏れでしたので、新しい方には29ページに記載させていただきました。

水野委員・・・ 「30年度報告書のまま」とある部分については、これを新しくする、見直すということでよろしいですか。

政策担当部長・・・ 「30年度報告書のまま」との表記のある部分については、目標4ですとか総括的な部分で記載が多いと思いますが、こちらは本日の会議も踏まえまして、総体的な意見も反映させたいということで、修正をかけさせていただきます。本日はそれ以外の部分でお気づきの点があれば、ご意見をいただければと思います。短時間の中で修正等も加わっておりますので、本日ご意見が難しいようであれば、タイトなスケジュールで申し訳ありませんが、来週水曜日午後5時位までにご意見をいただければ、それも反映させて、全体を修正してまとめていきたいと考えています。

今後、全体がまとまりましたら、各委員さんにもお目を通しいただいてご意見をいただきたいと思います。最終的には、事務局と正副の委員長との調整によりまして最終的な報告書としまして、皆様のご意見も踏まえてまとめていきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

委員長・・・ 我々の意見が漏れなく反映されてやっていただいていると思いますが、言い回しの部分で気になるところはあるかもしれませんが。

山内委員・・・ 昭島市産業振興計画策定のK P Iの目標値は数値でなくて良いのですか。

政策担当部長・・・ 数値で表せるところは、数値で表していますが、数値で表せないものも当然出てきますので、計画をいつまでに策定するなど今までもありましたので、文言でどういう方向性かは明らかにしていきたいと考えています。

事務局・・・ 計画の中には、工業・商業・農業・観光の分野ごとにそれぞれの計画を策定し、その中には当然具体的な目標等も記載されています。範囲も広いことから、それぞれの分野別計画の数値目標をすべて記載することは難しいので、前回の議論でもこのような記載をさせていただきたいとお伝えさせていただきました。

山内委員・・・ せっかくやったのに表に実績が何もなくて良いのかなと。

政策担当部長・・・ 最初のページは委員の発言主旨も踏まえ、注釈を入れて、策定は終わったので、K P Iの見直しの部分で、今後の取り組み方針を記載するような形で、取り組んでいるのがわかるような形で記載する方向で確認をさせていただきます。

#### 4. その他

事務局・・・ 報告書（案）については、9月10日（火）に開催される市議会定例会総務委員協議会において報告書（案）を報告し、その後、市長へ委員長から正式に報告する予定です。

本日の議論の内容も報告書（案）の形でまとめ、各委員に確認させていただく。これについては8月28日水曜日の午後5時を目途にメール、電話にてご意見をいただければと思いますので、よろしくお願いいたします

また、令和3年度からはじまる次期総合戦略については、本年度、来年度にかけて策定をして参りますが。策定に当たっては、総合基本計画と足並みをそろえて策定する形になりますが、産官学金労言の各分野の皆様や公募市民の皆様のご意見をいただきながら進めてまいりたいと思っております。

政策担当部長・・・ 今回で最終の会議になりますので、事務局を代表いたしましてご挨拶させていただきます。

はじめに、松本委員長、大塚副委員長をはじめ、委員の皆様方には、3回にわたり、なかなか慌ただしい会議にもかかわらずご出席、そして、施策の検証・評価に当たり闊達なご議論を賜りまして、心より、感謝申し上げます。

委員の皆様方それぞれ、専門的なお立場から、或いは市民目線に立って、本当に親身に、かつ真摯に、ご意見、ご指摘、ご提案を頂戴いたしましたことによりまして、平成30年度の評価報告書（案）につきましても、まだ確定したものではありませんが、大方まとめることができました。会議体としては、皆様にお集まりいただくのは本日が最終日となりますが、引き続きご協力をお願いいたします。また、30年度の評価は一旦終了となりますが、上位計画の総合基本計画策定作業が本格化をしているところでございます。昨年委員会でもお話しさせていただ

きましたが、人口ビジョンですとか市が抱えている課題の分析、それを克服するための総合戦略の基本方針の部分は、総合基本計画との整合性、一体的な取り組みが必要ですので、そちらの方に包含をする形でご了承をいただいているところでございます。

そうした中でも、策定委員会と言う形で、またお願いすることもあるかと思いますが、分析を行いながら、より効率的効果的な事業展開の施策体系の部分はご意見をいただきたいと思っておりますので、今後も引き続き、次期総合戦略の策定も視野に、ご協力を賜りますようお願い申し上げまして、簡単ではございますが、ご挨拶とさせていただきます。本当にありがとうございました。

## 5. 閉会

委員長・・・ 以上をもって、第3回総合戦略推進委員会を閉会します。  
慌ただしい中、活発なご議論をいただきありがとうございました。